



インスピレーションになろう

国際ロータリー会長 BARRY RASSIN (バリー・ラシン)

国際ロータリー第2530地区ガバナー 平井 義郎

福島南ロータリークラブ 会長 吉田 和義 幹事 一條 浩孝
目標「例会を楽しもう」

会員/74名 出席/50名 出席率/67.57%

メークアップ/24名 修正/74名 修正後率/100%

会長挨拶 吉田 和義 会長



本日はガバナー公式訪問となっております
平井義郎ガバナーをお迎えして早期より例会直前までご指導いただき心より感謝申し上げます。この後、平井義郎ガバナーにはスピーチを頂戴することとなっておりますので引き続きよろしくお願致します。

さて10月28日の日曜日、福島南ロータリークラブ主催の「大声杯」リトルリーグ野球大会が県営あづま球場で開催されました。当クラブ会員22名、成蹊高校IACより顧問の先生を含め4名が参加、大会は福島リトルリーグ事務局の協力により成功裏に終了することが出来ました。宮城県・山形県・福島県内各地区より6チームがあづま球場と荒川河川敷球場の2か所でリーグ戦を行い、総合優勝山形マリナーズ、ブロック優勝伊達・会津喜多方連合リーグでした。試合は各球場とも好試合の連続で参加チームそれぞれ1勝1敗の接戦でしたが

失点率により順位が決まる際どい戦いでした。社会奉仕委員会の皆様には事前の準備から当日の役割分担、表彰式迄奮闘頂き感謝申し上げます。ご逝去された富田健三郎会員よりリトルリーグ事務局を通して生前お祝いを頂いておりましたこと皆様にご報告させていただきます。

また先週の「世界ポリオデー」はロータリー財団委員会による素晴らしい企画運営大変ありがとうございました。お陰様でポリオ基金への募金、クラブ目標一人当たり50ドル達成できそうです。

1980年天然痘撲滅宣言より人類史上2番目の快挙が達成迄あと少しの所に来ていると言われていた「ポリオ撲滅宣言」、天然痘撲滅がワクチン開発から200年かかった歴史を考えれば急售すぎぬ様ポリオの終焉を見守りたいものです。

ガバナー公式訪問スピーチ 平井 義郎 ガバナー



2018-19年度ガバナーを仰せつかりました福島中央ロータリークラブ所属の平井義郎です。どうぞよろしくお願い致します。

・日本のRC 100周年
世界で良いことをしよう

よいことをするのに理屈はいらない

最初に、日本のロータリー100周年についてお知らせします。

2020年に日本のロータリー100周年記念事業が行われます。本日点鐘しましたこの鐘は、その為に100周年を記念して作られた地区用の鐘です。日本のロータリー100周年実行委員会では、「日本のロータリー100周年」を共に祝い、次の世紀に向けてクラブの将来ビジョン・戦略計画を考

える絶好の機会として活用して頂きたいとのことです。

西日本災害について

さて、西日本豪雨災害に際し甚大な被害を受けられた各地区の皆様には心からお見舞い申し上げます。ここ数年の豪雨による災害は段々と規模が大きくなり、その被害範囲も拡大しているように思えます。

この豪雨による被災地区は、

- 2650 (福井・京都・奈良・滋賀) 50万円、
- 2670 (愛媛・香川・高知・徳島) 150万円、
- 2690 (岡山・島根・鳥取) 150万円、
- 2710 (広島・山口) 150万円、
- 2730 (鹿児島・宮崎) 50万円 の5地区に及びます。

この災害に対し、私たちはできるだけの事をする必要があると考え、地区の復興基金に合わせ、ロータリアン各位から義援金を

募りお見舞い金として送金する事にいたしました。私たちが東日本大震災で受けた善意に対し、私たちがも善意でお返ししたく会員一人あたり2,000円以上のご協力をお願い致しました。

ガバナー公式訪問の役割

ガバナーは、個々のクラブ例会や複数クラブの合同例会といった機会を利用して、地区内の全クラブを訪問します。公式訪問の主な目的は、**会員の意欲を高め、支援を提供すること**です。

- ・ガバナーの第一の役割は、クラブへのサポートです。
- ・奉仕プロジェクトへの参加意欲を喚起し、クラブの活動を地域社会に紹介するよう奨励する。
- ・入会者にとって魅力があり、現会員が満足できるような活気あるクラブをつくるために、柔軟なクラブ運営や新しい試みを取り入れるよう奨励する
- ・ロータリーの重要な問題への関心を高める。
会員増強、POLIO撲滅、社会奉仕活動
- ・優れた活動を行ったクラブやロータリアンを、ガバナー自ら表彰する。
- ・地区大会への出席を全会員に奨励する。
- ・地区の研修セミナーに次期クラブリーダーが出席することの重要性を強調する。
- ・クラブリーダーが「**クラブの健康チェック**」を活用して問題を特定し、これに対処するための会員増強計画を作成することを奨励する。オンライン会員増強コースを参照することを推奨する。
- ・訪問中、クラブ会長をはじめとするクラブリーダーと会合し、例会またはクラブ協議会に出席しましょう。会員と直接話ができるこの機会に、クラブの活動状況、課題、地区からの支援方法について話し合います。

バリーラシンRI会長

さて、「ロータリーとは何ですか?」と皆さんにお聞きします。

その答え、「**私達は行動をもって答える**」。

いま、ロータリーに必要な事は行動です。地域社会の為、青少年の為、世界の困った人たちの為に行動を起こしましょう。

バリー・ラシンRI会長は、

1年前、国際ロータリー理事会は、ロータリーとその未来に向けた私たちの意思を表した新しいビジョン声明を採択しました。「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指していますというものです。」

このシンプルな文章には、ロータリーの本質が凝縮されています。

- ・私達は手を取り合います。なぜなら、手を取り合えば、一人にいるよりもはるかに強くなれることを知っているからです。
- ・私達は行動します。なぜならば、夢ばかり見ているのではなく行動人だからです。
- ・私たちの活動が終了した後もずっと続く変化を生み出すために、ロータリーは地元や世界で活動します。そして、おそらく何より大切なのは、ロータリーは自分自身に変化を生み出すために行動するという事です。

より良い世界を築くだけでなく、私たち自身がより良い人間になるために、『フランス人作家のアントワヌ・ド・サン・テグジュペリは、「船を造りたいなら、木を集めたり、木を切ったり、任務を割り振るのではなく、果てしなく続く広大な海への切望の心を培うことから始めなさい」と言いました。』

ポール・ハリスは、1915年2月号のロータリー誌で「今から100年後にロータリーはどうなっているのでしょうか?」

生きていく人には想像もつきません。現在のロータリーにとって不可能なことはありません。

私は、ロータリーは生き続けると信じています。生きていけるなら、発展するでしょう。

いつか現在の会員資格によって課せられる責務を遂行できなくなるときが来ます(私たちは、冷酷な掟に従い、年老いていくに違いない)。

多分退会しないでしょう。もし退会しなければ、大いなるロータリーの夜明けが多分そのとき来るでしょう。」と言っています。

バリー・ラシンRI会長はさらに、私たちは皆、望みを抱いてロータリーに入会しました。

影響を及ぼしたい、世界を変えたい、自分一人の存在よりも大きな何かの一部になりたい、という望みです。その望み、つまりより良い世界とその世界を築くための私たちの役割のビジョンこそ、私たちのロータリー活動を支えるものです。これこそ私たちがロータリーの会員になった理由であり、奉仕活動を行う理由であり、私が今年度のテーマに「インスピレーションになろう」を選んだ理由です。

私は人々の暮らしを変えるような影響をもたらす活動を行うことで、ロータリーが地域社会のインスピレーションになってほしいと思っています。今こそ、障壁を取り除き、前に踏み出す時です。自分たちのクラブの細則を変更したり、さまざまなニーズに応える新しいクラブを結成できるようにしましょう。

ローターアクトの強化に取り組み、ローターアクトクラブからロータリークラブへとスムーズに移行できるようにしましょう。

全てのロータリアンが自分にとってベストの形で奉仕活動が行えるよう、柔軟性を持たせましょう。そうすれば全てのロータリアンが永続的な価値を見出せるでしょう。

私たちがロータリーで行おうとしている持続可能な奉仕とは、私たちの活動全てを、より大きく、全世界的な生態系の一部として捉えることです。

今年度私が皆さまにお願いしたいのは、**環境問題**の影響に取り組むことで、持続可能な奉仕活動を行い、インスピレーションになってほしいということです。環境は、6つの重点分野全てにおいて深く関わっており、その関係は気候変動の影響が明らかになるにつれ、高まる一方です。環境問題を6つの重点分野と別物として捉える見方は、もう抜け出すべきです。きれいな空気、水、大地は、健全な地域社会にとって欠かせません。そして、私たちが求める、より良い、より健全な未来に対しても欠かせないものです。インスピレーションになりましょう。力を合わせれば、私たちは世界にインスピレーションを与えることができるのです。

ポリオ撲滅

重要なロータリーの問題として最初にポリオ撲滅が上げられます。次に会員増強、特に若い会員と女性会員の増強が叫ばれています。次いで公共イメージの向上があります。これらの問題について詳しく考えてみましょう



ポリオ撲滅について、ロータリーが上げている全体としての活動それがポリオ撲滅です。
組織が一つの目標を掲げ全員がその目標に向かっていく事によって組織に結束力が付きます。この結束力こそが次のステップに繋がる元となると思います。このことからクラブに結束力ができる共通のプロジェクトとして、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕などそれぞれの活動を行う事が大事になります。それらの活動を持続させ、将来までクラブが存続するようにするために、**会員増強**が必要となります。

次に会員増強について

これから脱却し**新しい風を吹かせるために**、若い会員の増強が今必要とされています。
ザ・ロータリアンの5月号の表紙は正にそれを物語っているのです。

「Can you change your mind?」「あなたはあなたの心を変えることができますか?」

国際ロータリーは、ロータリーの将来に危機感を持っています。今、会員それぞれがその事に気がついて会員増強を行い、世界が必要としているロータリーを存続させなければならないと言っているのではないのでしょうか。

会員増強を行う手法としてロータリーの認知度を上げることが必要になります。

それも、過去に言われてきた「入れてやるロータリー」から、ロータリーってすごいな。ロータリーって面白そうだな。といった環境を作り、ロータリーに対するイメージを高める必要があるのです。

身近な地域への奉仕活動を積極的に、マスコミなどの力を借りながらロータリーの認知度、公共イメージを高めることによって会員増強も出来ることになるのです。

一方においてベテラン会員の役割もまた、重要なことだと思います。若い会員が多く入り活躍することは大変望ましいことです。

しかし、ロータリーの知識を習得するには時間がかかります。ロータリーの知識やルールなどの指導のためにベテラン会員のサポートが必要になります。培われてきた知識や経験を若い会員に伝える役割をクラブで考え、対応することも必要です。

ポールハリスの言葉 寛容

全員的一致は、とても期待できるものではありません。ロータリーがその最善の活用方法を問うても、15万のロータリアンのうち、2人として意見が完全に同じということは多分ないでしょう。人の考えの異なるのは、その容姿が異なるのと同じです。考えの微妙な差は、色合いの違いよりはるかに多様で、それを変えるのは難しいのです。信念は、気質、遺伝、環境、経験などのいろいろな影響によって決まります。指導者たるものは、忍耐と慎みをもって、柔軟な判断を下さなければなりません。教条主義ロータリーでは役に立つことはできません。



ガバナー公式訪問クラブ協議会



— 今後のプログラム —

- ・ 11月14日(水)ゲストスピーチ 大橋 美由希さん(福島中央 RAC)
- ・ 11月21日(水)休会 成蹊高校第6回 IAC 例会
- ・ 11月28日(水)移動例会(風の谷)オーナースピーチ
会員スピーチ(関口富美男会員)

— 地区情報・第一分区・関連情報 —

- ・ 11月9日(金)防火パレード
- ・ 11月11日(日)ロータリー財団補助金管理セミナー
- ・ 11月17日(土)～18日(日)日本学友会総会(東京海洋大学)

リトルリーグ 『大声杯 野球大会』



— 11月7日(水)の例会プログラム —

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| 1. 開会点鐘 | 本日のテーブルスピーチテーマ |
| 2. 国歌斉唱 | 『最近楽しかったこと』 |
| 3. ロータリーソング | 9. 猪苗代湖漂着水草除去回
収作業報告 |
| 4. 四つのテスト唱和 | 10. リトルリーグ 大声杯野球大会
報告 |
| 5. 来訪者紹介と会長挨拶 | 11. 会員スピーチ 安斎常克 会員 |
| 6. ロータリーの友読みどころ | 12. 各委員会報告 |
| 7. 創立50周年記念式典・
祝賀会実行委員会報告 | 13. 閉会点鐘 |
| 8. スイミング BOX 報告 | |